

第4 平成19年度 主要施策

国際競争力の強化

1. 国際水準の物流ネットワーク構築による国際競争力向上

中国をはじめとするアジア諸国の経済成長は著しく、国際競争が一層激化してゆく中、今後とも我が国の国際競争力を維持・強化し、さらなる発展を遂げていくためには、アジア諸国との経済的な連携のもとに国内経済に活力を与える道路整備等の基盤整備が求められています。

このため、事業の実施にあたっては、経済成長戦略大綱（平成18年7月財政・経済一体改革会議）の趣旨を踏まえ、国際競争力の強化を図る観点から速効性の高い事業を中心に整備を推進します。

(1) 国際物流基幹ネットワークの整備

交通の円滑化や都市機能の強化に加え、物流効率化による国際競争力強化の観点からも不可欠な三大都市圏環状道路など高規格幹線道路、地域高規格道路等の整備を推進します。

また、スーパー中核港湾に係る区間等を中心に橋梁補強等の緊急対策事業を実施し、供用中のルート上における国際コンテナ通行支障区間（約560km）の早期解消を図ります。

これらにより、国際標準コンテナ車（車両総重量44t、車高4.1m）が、重要な港湾等と大規模物流拠点間を支障なく通行可能となる国際物流基幹ネットワーク（約34,000km）の整備を図ります。

国際コンテナ通行支障区間解消のための緊急対策事業

橋梁架替：府道大阪中央環状線鳥飼大橋（大阪港関連）等

(2) 空港・港湾へのアクセス道路の整備

高規格幹線道路等のICから拠点的な空港・港湾へのアクセス率は、欧米に比べ低い水準であることから、これを欧米並みの水準（約9割）まで向上させるために、アクセス道路等を重点的かつ効果的に整備します。

H19までに拠点的な空港・港湾への道路アクセス率^{参1}を68%まで向上させ、今後欧米並みの水準まで向上

H9(実績)30%
(20箇所へアクセス)

H14(実績)59%
(39箇所へアクセス)

H19(目標)68%
(46箇所へアクセス)

空港・港湾へのアクセス道路の整備：事業費2,780億円

成田国際空港関連道路（一般国道464号北千葉道路）、三河港関連道路（一般国道23号名豊道路）等

(3) 荷さばき駐車対策の推進

違法駐車取締り強化を踏まえ、地域・民間事業者等の連携による荷さばき駐車対策を支援し、輸送システムの効率化、交通の円滑化等を図ります。

<参> 1. 拠点的な空港・港湾への道路アクセス率：高規格幹線道路・地域高規格道路又はこれらに接続する自動車専用道路のIC等から10分以内に到達可能な拠点的な空港・港湾（67箇所）の割合